

令和5年度 田辺市文化事業  
「和太鼓グループ彩-sai-スペシャルコンサート」



和太鼓グループ彩-sai-

東京大学にて結成された和太鼓集団。  
2013年よりプロ和太鼓チームとして本格活動し、  
これまで31か国にて2000公演以上の場を彩ってきました。  
ツアー活動のほか、近年では映画「帝一の國」のアドリブ太鼓総合プロデュース、  
テレビ朝日「ミュージックステーションウルトラフェス」出演、  
ラグビーワールドカップ2019「日本大会」選手入場演奏を務めるなど、多方面で活動する、新進気鋭の和太鼓集団です。

当団体は「楽しいが響きわたる」をモットーに、  
和太鼓・和楽器を活用した「楽しく・開放感あふれるパフォーマンス」をお送り致します。  
在籍するのは、20代～30代の男性メンバー。  
身体全身を使い、時には命を削って舞台表現をする和太鼓には、圧倒的な開放感があります。

和太鼓彩では、1500年という長い歴史を持つ和太鼓の可能性を幅広く捉え、  
様々なジャンルの楽曲をお届けするとともに、  
和太鼓の圧倒的な音と開放感を通じて、「自由で楽しい時間」をお届け致します。

「楽しいが響きわたる」彩のパフォーマンス、ぜひご堪能ください。

楽器紹介

長胴太鼓

約1500年以上前から形を変えていない、  
日本を代表する伝統楽器。  
一本の木をくり抜いて作られ、  
5km先まで音が響くと言われています。

桶胴太鼓

複数の木の板を貼り合わせて  
作られているためとても軽く、  
肩に担いで持ち歩いたり、  
軽快な演奏をお届けすることが出来ます。

篠笛

日本の音階を支えてきた伝統楽器。  
能や歌舞伎、お囃子など、  
様々なシーンで活躍してきました。  
竹のみで作られた楽器です。

チャッパ

古来より仏具として使用され、  
お祭りでは欠かせない伝統的な金属楽器。  
現代風にアレンジし、コミカルで楽しい  
パフォーマンスをお届けします。

和太鼓グループ彩-sai- ホームページ

和太鼓グループ彩-sai- YOUTUBE

和太鼓グループ彩-sai- Instagram

和太鼓グループ彩-sai- Twitter

和太鼓グループ彩-sai- WEBSHOP

◆日時 令和5年7月1日(土)14時00分開演 (13時30分開場)

◆会場 紀南文化会館 小ホール

◆チケット 2,000円 (当日券は2,500円) 自由席

※3歳以下は保護者1名につき1名までひざ上無料ですが、席が必要な場合は有料となります。

◆発売日 5月22日(月)～

◆チケット販売所 紀南文化会館、文化振興課、プレジール

◆問合せ 田辺市教育委員会 文化振興課 ☎26-9943

令和5年6月号 公民館だより

稲成

未来へつながる道  
田辺市

発行：稲成公民館  
館長：倉谷 修治 主事：津田 祐司  
事務所：田辺市高雄一丁目23番1号  
市民総合センター内



TEL：26-4925 FAX：25-6029  
田辺市ホームページ <http://www.city.tanabe.lg.jp/>  
稲成公民館区 人口及び世帯数 令和5年4月末現在  
人口3,221人 世帯数1,496世帯 男性1,524人 女性1,697人

唯一無二の存在 稲成公民館長 倉谷 修治

6月、水を張った田んぼに稲の苗が植えられ、ツバメが飛来し巣作りを行っています。  
また、半袖半パンで過ごせそうな日々が続いていたかと思うと、羽織るものが欲しいくらいの日があったりと体調を崩してしまいそうなややこしい日々が続いております。

そうした日常の中、もうすぐ南高梅を積載した軽四トラックが慌ただしく稲成界隈を駆け巡る日々がやってきます。梅農家さんにとって6月中は1年中でおそらく一番忙しく、大変な時期なのではないでしょうか。日本の食料自給率が低下していく中でそんな風景を見ますとなんだかほっとします。

さて、5月19日から5月21日までG7広島サミットが開催されました。各国の首脳がそろって原爆資料館のある平和記念公園に赴き、慰霊碑に献花する様子がとても印象に残りました。

また、当初リモートでの参加を表明しておりましたウクライナのゼレンスキー大統領が人類初の核の惨禍の地である広島を訪れたことで、「核兵器のない世界を目指し、核戦争を二度と起こさせない」ために大きな意義があったように感じました。私たちは、戦争のない平和な世界を築いていかなければならないと思います。

さて、話は変わりますが皆さん、植物学者の牧野富太郎博士をモデルにした朝ドラはご覧になっておられるでしょうか。次の会話はある日、主人公が「自分は雑草のように誰からも見向きもされない人間だ」と語り、生きることを見失いかけた方に諭すように語られたセリフです。

「雑草を 踏みにじったところで 誰も気に留めない。」  
「雑草という草はない。天から与えられた命。持って生まれた唯一無二の名前がある。  
草花に値打ちがないって人が勝手に決めつけるな。草花には そこで生きる理由がある。  
この世で咲く 意味がある。」

NHK朝ドラ主人公のある日のセリフを引用しています。

人は誰も個性を持ってこの世に生まれてきております。  
地球誕生からおよそ46億年。それに比べて私たちの一生はほんの一瞬でしかありません。  
この星には今、およそ80億人が暮らしています。私たちはその中で、唯一無二の存在なのです。  
生まれてこなければよかった命など一つとしてありません。  
生まれてきたこと、それこそが奇跡だと思います。

## 令和5年度 稲成公民館 運営協力委員会を開催

5月23日（火）、令和5年度稲成公民館運営協力委員会を開催し、すべての議事について承認をいただきました。昨年度の稲成公民館の事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業もありましたが、「2022 稲成・むつみ ふれあい文化祭」や「令和5年 動鳴気峡桜まつり」を開催することができ、少しずつではありますが、地域の活力を取り戻しつつあります。

また、当地域において長年の願いであった稲成公民館が完成し、「人づくり・地域づくり」の拠点となる施設が整備されました。今後は公民館を拠点とし、地域の方々の学びや交流を促進し、地域の活性化につなげてまいります。

※今後の公民館事業の詳細については、随時本紙にてお知らせいたします。



令和5年度の稲成公民館運営協力委員会の委員の皆様方は、下表のとおりです。どうぞよろしくお願いたします。

番号	役職名	氏名	番号	役職名	氏名
1	稲成公民館長	倉谷 修治	12	稲成愛郷会会長	榎本 哲也
2	稲成町内会長	山田 能久	13	生涯学習(人権)推進員	倉谷 弘子
3	むつみ町内会長	前川 友利	14	田辺市スポーツ推進委員	岡崎 一誠
4	稲成町内会副会長(土木委員長)	尾崎 博文	15	田辺市スポーツ推進委員	榎本 朗大
5	むつみ町内会副会長 生涯学習(人権)推進員	吉本 敬	16	稲成小学校 校長	鳥山 修身
6	稲成町内会庶務・会計 荒光区長	鎌倉 秀次	17	稲成小学校育友会長	高山 弘和
7	谷上区長	山下 智之	18	稲成子どもクラブ会長	岩本 まゆみ
8	糸田区長	藤田 晴彦	19	田辺市消防団 稲成分団 分団長	津田 浩介
9	谷区長	前川 和也	20	稲成保育所 所長	宇坪 美代子
10	馬場平区長	桐本 昌吾	21	コーディネーター受講生	前北 敏三
11	下村区長	壺井 清志	22	公民館主事(事務局)	津田 祐司

## 稲成町内会からのお知らせ(河川整備作業)

稲成町内会では、河川敷の草刈りなど河川の整備作業を下記の日程で行います。皆様方のご参加とご協力をよろしくお願いいたします。

- ◆日時 令和5年7月9日(日)午前8時～
- ◆作業区域 稲成川(両岸)・荒光川(両岸)・左会津川(右岸)



※当日は、気温・湿度が上がり蒸し暑くなることが予想されます。熱中症等健康管理には、十分ご注意ください。

## 御田植神事取材してきました(伊作田稲荷神社)

5月5日(金・祝)、伊作田稲荷神社にて田辺市の指定無形民俗文化財に指定されている「御田植神事」が4年ぶりに行われました。総代の皆様方により、田植えから稲の収穫までの一連の流れを演じ、また、張り子の牛も登場し、来場者を楽しませていただきました。



稲成小学校6年生の児童たちもかすりの着物に赤いたすきをかけ、早乙女役を務め田植えや稲刈りの様子を演じ、来場者から拍手が送られました。

## 公民館へ書籍類を移動しました

稲成町民センターには、長年にわたり農業に関する多数の書籍が収蔵されてきました。地域の方々によりますと、この書籍は、稲成町の出身で農学者であった榎本中衛(なかえ)氏(故人)が、稲成地域の農業の振興と発展のために寄贈されたとのことでした。5月3日(水・祝)に町内会の関係者の皆様方のご協力により、同センターから公民館1階ロビーに移設しました。



公民館にお越しの際は、是非ご覧ください。

### ○榎本中衛氏について

1892年～1961年 大正5年(1916)東京帝国大学(現在の東京大学)農科大学卒業。新潟県農事試験場技師、農林省農事試験場技師を経て、昭和4年(1929)京都帝国大学(京都大学)農学部助教授に就任、作物学を担当する。翌年から2年間、アメリカ、ドイツ、イタリアに留学し、昭和7年(1932)に教授に昇進。

その後、九州帝国大学(現在の九州大学)の教授や和歌山大学の教授を併任。昭和30年(1956)年に退官し、近畿大学農学部長、脇村奨学会理事長、朝日新聞社企画の米作り日本一中央審査委員会委員長、小野真次和歌山県知事の農政顧問などを歴任された。昭和36年7月28日没

【参考文献 和歌山県史 人物編】

## 令和5年度 危険物安全週間の実施について

6月4日(日)から10日(土)まで危険物安全週間です。

事業所や個人での危険物の取扱いには十分注意しましょう。また、ガソリンを携行缶で購入される際は、消防法により①本人確認(運転免許証の提示など)、②使用目的の確認を行い販売記録を作成することが義務付けられていますので、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

令和5年度危険物安全週間推進標語  
意志つなぐ 連携プレーで 事故防ぐ

